



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社住友倉庫(仮称)南本牧新倉庫	階数	地上6F
建設地	横浜市中区南本牧3番19号	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域	平均居住人員	35人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年4月 予定	評価の実施日	2018年3月2日
敷地面積	10,500 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業(株)
建築面積	6,209 m <sup>2</sup>	確認日	2018年3月2日
延床面積	25,400 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業(株)

外観パース等

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.6

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	計画地は大型コンテナ船のターミナル埠頭のため、周辺にも大型の建物が多く存する。計画建物も倉庫(6階建て)というボリュームのある建物のため、周囲に与える圧迫感を軽減するよう、建物をセットバックさせ、沿道に植栽を設ける。	
<b>その他</b>	敷地内に電気自動車用充電装置を設ける。中央監視設備(BEMS機能付、電力デマンド監視付)を採用する。	
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
事務所は明るく清潔感のある空間となるよう配慮する。窓を多く配置して室内の風通しをよくすると共に、外部からの光を取り入れ易くする。内装には積極的にF☆☆☆☆建材を採用し、安全な室内環境を提供する。	倉庫は間仕切りを極力設けず、床荷重0.9t~3t、階高4.2~6.8mとゆとりをもたせ、将来的にもフレキシブルに使用できる建物を目指す。	市条例による緑化には低木、中木、芝など様々な樹種を用いる。また、沿道に設けることにより周辺地域へ緑あふれる環境を提供する。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
照明はLEDを採用する。	内装には有害物質を含まない接着剤を採用する。ノンフロン断熱材を採用する。	室外機はすべて屋根の上に設ける。燃焼機器は使用しない。屋外広告物照明は行わない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



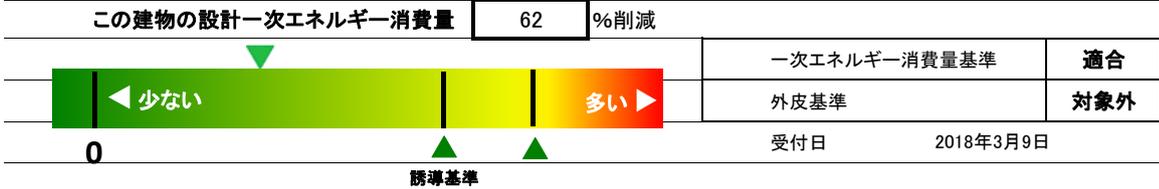
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **株式会社住友倉庫(仮称)南本牧新倉庫**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①外壁にはALCパネルを採用する。
- ③BEIm=0.38(高効率空調、LED照明の採用)

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

- ⑪建築材料はF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

- ⑰事務所:タイルカーペットt6.5(OAフロアH50)、壁:ビニールクロス(PBt12.5)、天井:岩綿吸音板t9

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
—	
エネルギーマネジメントシステム導入	その他;電気自動車充電装置
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">BEMS</div> <span style="margin-left: 20px;">—</span>	